



◀ 東部クリーンセンター



▶ 西部クリーンセンター

ごみ処理施設	工事費用
東部クリーンセンター(平成12年度建て替え完了)	工場棟=96億6,000万円、管理棟など=約7億5,000万円
西部クリーンセンター(平成13年度改修完了)	ダイオキシン類削減対策改修工事=約28億5,000万円
西部最終処分場(平成14年度完成・新築)	造成、浸出水処理施設など=約50億円

ために、約36億円の費用がかかった計算になります。



資源ごみの分別をする椎木町の皆さん

Q 佐世保市はどんな取り組みをしているの？

A 下の4つの基本方針に沿って、ごみの減量・資源化を進めています



私たちは、快適さや便利さを求めるあまり、「大量生産・大量消費・大量廃棄」という生活を送ってきました。このため、環境に大きな負荷を与え、天然資源の枯渇や地球温暖化など、地球規模の環境問題を引き起こしています。市では、9月に完成したばかりの西部最終処分場の埋め立て年限を、8年と見込んでいます。今ある施設を少しでも長く使つため、また、環境を守るためにも、私たち一人ひとりの心掛けが大切なのです。



Q このままごみが増え続けると、どうなるんだろう？

A 地球環境はますます悪化し、私たちの生活に深刻な影響が出ることが予想されます

私たちは、快適さや便利さを求めるあまり、「大量生産・大量消費・大量廃棄」という生活を送ってきました。このため、環境に大きな負荷を与え、天然資源の枯渇や地球温暖化など、地球規模の環境問題を引き起こしています。市では、9月に完成したばかりの西部最終処分場の埋め立て年限を、8年と見込んでいます。今ある施設を少しでも長く使つため、また、環境を守るためにも、私たち一人ひとりの心掛けが大切なのです。



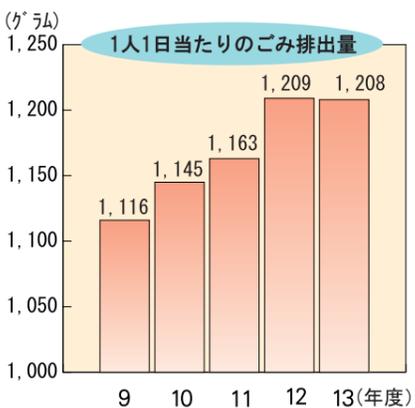
Q 市内から出るごみの量、やっぱり増えているの？

A 人口は減っているのに、ごみの量は増えているんです。平成9年度と13年度を比べると人口は約3千3百人減っていますが、ごみの量は約6千7百トン増えています。これは、1人当たりの排出量が増えているためです。



毎日の生活の中で、何気なく出しているごみ。いったん自分の手から離れたら、もう無関係と思ってしまうませんか？ 私たちが出しているごみを処理するためには、莫大な費用がかかるだけでなく、地球温暖化などの深刻な環境問題にも大きな影響を与えています。毎日出るごみだからこそ、ちょっとした工夫で減らすことができます。私たちにできる身近なごみの減量について考えてみましょう。

「ごみから始めよう」



平成13年度は、1人当たり年間1万4782円の処理費用がかかりました。ごみを適正に処理するには、公害防止のため、国が定めた厳しい基準に沿った施設が必要となり、多額の建設費や維持費がかかります(次ページの表参照)。

このほか、ごみ収集車両の購入など、収集・運搬のための経費も必要となるため、平成13年度では約10万6千トンのごみを処理する

ごみの発生を抑える社会づくりを進めます

- ◆ 町内での分別指導のほか、分別説明会へ講師を派遣します。
- ◆ 各町内会などにクリーン推進委員を置き、地域に根差したごみの減量化・資源化にご協力いただいています。
- ◆ 多量排出業者を訪問し、個別指導をしています。



ごみの資源化・リサイクルを進めます

- ◆ そのままでは資源にならないごみ(燃やせないごみなど)から、鉄やアルミなどの資源を回収します。
- ◆ 資源集団回収を実施した子ども会などに、報奨金を交付します。
- ◆ 電動生ごみ処理機の購入者に、費用の一部を助成します。

新しい収集・運搬システムをつくります

- ◆ ごみを出すときは分別を徹底するほか、店頭での食品トレー回収など、新しいリサイクルの経路と連携しながら、ごみの量を減らします。
- ◆ ごみステーションの整備に対し、費用の一部を助成します。

新しいごみ処理技術を導入します

- ◆ 廃棄物を再利用、再資源化し、その残りを安全に処理する技術や、処理過程で生まれるエネルギーの利用など、最新技術の動きを研究し、新しいごみ処理技術を導入します。